

## 環境問題・ゴミ対策について



久保克己議員

**久保克己議員** 急速な科学進歩に伴い、大量生産・消費・廃棄に慣れ親しんだ生活様式を変えるのは容易ではない。地球環境の保全の限定を忘れては、今までの文明による社会、経済発展は水の泡と化するのでは。本町でのリサイクル施行後、ゴミ量の変化、そして民間委託による収集形態の変化等はどうか。

**北村町長** 環境問題は重要な課題、行政のみならず、地域住民、事業者と一体となつての取り組みが求められる。県では地球にやさしい県民運動推進会議が設立され、県下全域で運動に取り組みを確認、本町でもこの運動を積極的に推進して行く。四月から容器包装リサイクル法に基づき分

別収集が施行、十月末でゴミの全体量は六千二百二十トで、前年度より約二百二十トの増資源ゴミは約八百三十九ト収集したため可燃ゴミは前年度より約六百五十七トの減で率にして十一・五％の減、分別収集当初は住民サイド、収集業者双方にとまどい等があり混乱したが、現在は順調に推移している。可燃・不燃ゴミステーションの他資源ゴミステーションを新たに一三四か所設置、収集形態は十二年度と同業者で可燃・不燃ゴミ他に資源ゴミを月に二回収集分別、指導員の手間が増えている現在徐々に分別意識が浸透してきている。未だに指定外のゴミ持ち込みがあり、これは公民会未加入の方や地域外からの越境が主であるようだが

**久保議員** 現場作業の対策、一般ゴミ不法投棄対策についての対応は。

**町長** 資源ゴミ収集は民間に



山中に捨てられたゴミ

察と連携し、取り締まりの強化を行っていく。産業廃棄物は現在問題となるようなものはない。

**久保議員** 家庭用生ゴミ機の購入者に対する補助制度の内容は。また、県立公園の景観保全についてを伺う。

## 狂牛病対策と消費者対策について

**久保議員** 出荷自粛等農家の労働・飼育等・補助制度と安全宣言のPR等について伺う。

**町長** 補助制度は十二年度から町衛自連で実施、購入価格の二分の一以内で上限二万円まで。

北薩広域公園は自然環境を生かした公園であり、町も景観保全、自然保護に努める。

業務委託、当初は午後八時〜九時まで収集していたが、分別が悪かったのは、収集作業車と人員の不足が主原因で、現在では午後四時半には収集

**町長** 国で肥育牛一頭当たり二万円、廃用牛八千円、肉用子牛一万円の助成、労働・飼育等については、マル繁事業を補充、子牛生産拡大奨励事業の対象者など、特例として充実したものがある。他に肥育農家への特別融資これに伴う利子補給がある。町独自での補助制度もある。安全宣言のPRでは、「宮之城町牛肉消費拡大推進決起大会」、「二〇一〇モーターフェスタ川薩」等安全性への理解を含め消費回復につなげていく事が大切である。消費者へは世界一安全で美味しい国産和牛肉のPRに努め、農家の経営対策や牛肉市場の平準化など、早急なる対応を国に要望していく。